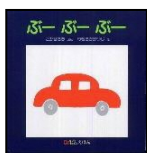




### 『どうぶつのおやこ』

藪内 正幸／画  
福音館書店  
(E-ヤブウ)

ねこの親子、くまの親子、きりんの親子…。子どもたちの大好きな動物の親子が写実的に描かれている、文字のない絵本です。動物たちに呼びかけたり、おはなしを作ったり、自由に読んでみてください。



### 『ぶーぶーぶー』

こかぜ さち／ぶん  
わきさか かつじ／え  
福音館書店  
(E-744)

赤い自動車は「ぶーぶーぶー」。青い自動車は「ぷーぷーぷー」。大きい自動車も「ぶわーん」とやってきます。

カラフルな自動車がそれぞれの音を鳴らしながら、次々と登場します。読んでいるうちに、子どもたちも思わず「ぶーぶーぶー」。

### \*その他のおすすめ本\*

#### 『ぴよーん』

まつおか たつひで／作・絵  
ポプラ社 (E-マツオ)

#### 『がたんごとんがたんごとん』

安西 水丸／さく 福音館書店 (E-アンザ)

#### 『ぶうぶうぶう』

おーなり 由子／ぶん はた こうしろう／え  
講談社 (E-ハタ)

#### 『たまごのあかちゃん』

かんざわ としこ／ぶん やぎゅう げんいちろう／え  
福音館書店 (E-ヤギウ)

#### 『くつついた』

三浦 太郎／作・絵 こぐま社 (E-ミウ)

#### 『くつくくつく』

長谷川 摂子／文 小川 忠博／写真  
福音館書店 (E-カガリ)

#### 『ゆめにこここ』

柳原 良平／作・絵 こぐま社 (E-ヤキ)

令和5年4月  
編集発行：福島市立図書館 (Tel. 531-6551)

#### 【福島市立図書館】

- 開館時間  
午前9時30分～午後7時  
(日曜日・祝日は午後5時30分まで)
- 休館日：火曜日、館内整理日
- おひぎにだっこのおはなし会  
毎月第3木曜日 午前10時30分～
- あかちゃんタイム  
毎月第3木曜日 午前9時30分～12時

#### 【福島市子どもライブラリー】

- 開館時間  
毎日：午前9時30分～午後7時
- 休館日：火曜日
- おひぎにだっこのおはなし会  
毎月第1木曜日・第3日曜日  
午前11時～

学習センター図書室については、各館にお問い合わせください。

## あかちゃん えほん① 【0歳～】



### \*はじめに\*

赤ちゃんにとって「生まれて初めてふれる本」は、絵本です。赤ちゃんを膝にのせて、できるだけゆっくり、心を込めて読んであげてください。それが親子のふれあいの場となり、赤ちゃんにとっても幸せな経験となっていきます。

このリストでは、0歳位からの赤ちゃんにおすすめの絵本を紹介しています。絵だけで楽しむ絵本、赤ちゃんの身近にある「もの」の絵本、わらべうたの絵本…。ぜひ、赤ちゃんにお気に入りの1冊を見つけてあげてください。



### 『くだもの』

平山 和子／さく  
福音館書店  
(E-ヒヤマ)

切る前の丸ごとの形と、食べやすく切った後の形とで、交互に描かれたくだものがとってもおいしそう！「さあどうぞ」の言葉に、思わず手をのばしたくなります。最後は自分でバナナの皮をむけるかな？

シリーズに『やさい』『おにぎり』『いちご』があります。



### 『わんわん おかお』

とよた かずひこ／著  
アリス館 (E-トヨタ)

いぬさんのおくち、ぶたさんのおはな、ねこさんのおめめ。「どーこ？」の問いかけに、動物たちが答えてくれます。赤ちゃんと一緒に指差しをしながら楽しく読めます。

シリーズに『ぷるんぷるんおかお』『まんまるおかお』があります。

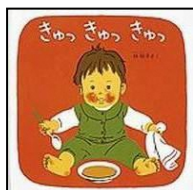


### 『いないいないばあ』

松谷 みよ子／文  
瀬川 康男／え  
童心社(E-セガワ)

動物たちが「いないいないばあ」をしています。にやあにやも、くまちゃんも、こんこんぎつねもみんな、いないいない…ばあ。さあ、今度はあなたも、いないいないばあ！

ぜひ、赤ちゃんと一緒に遊んでみてください。



### 『きゅっきゅっきゅつ』

林 明子／さく  
福音館書店(E-ハヤシ)

なかよしのうさぎさん、ねずみさん、くまさんと一緒に、おいしいスープをいただきます。あらら、こぼしちゃった。「きゅつ きゅつ きゅつ」きれいにふいてあげようね。あれ、まだお口のまわりにこぼしている子がいるよ。だれかな？シリーズに『おててがでたよ』『くつつくあるけ』『おつきさまこんばんは』があります。



### 『もこもこもこ』

谷川 俊太郎／作  
元永 定正／絵  
文研出版(E-トナ)

なんにもない地面から、もこもこ、によきによき。なんだろう？ ふくれあがって、ぱくっと食べて、ぼろりと落とす。それがまたふくれあがって、ぱちんと弾けて、ふんわふんわ…。擬音とシンプルな絵で構成されています。自由な想像でさまざまなストーリーが楽しめます。



### 『かぞく』

ヘレン・オクセンバリー／作  
文化出版局  
(E-クセ)

おかあさん、おとうさん、おねえちゃん、おにいちゃん、それから…。赤ちゃんの周りにいる人たちを描いた、文字のない絵本です。

シリーズに『あそび』『したく』『しごと』『ともだち』があります。



### 『おひぎでだっこ』

内田 麟太郎／ぶん  
長谷川 義史／え  
童心社(E-セガワ)

ぱんだのお母さんが赤ちゃんに、おいでおいで、おひぎでだっこ。一緒に絵本をめくります。たぬきの親子はぼんぼこぼんとおなかをたたき、ねこの親子はおひぎでねんね、ぞうの親子は一緒にくだものを食べて、ふたりですやすやす…。

赤ちゃんをおひぎの上に乗せて読んであげてください。



### 『ととけっこうよがあげた』

こばやし えみこ／案  
ましませつこ／絵  
こぐま社(E-マシマ)

にわたりのこっこさんが「ととけっこうよがあげた…」と歌うと、みんな元気に起きだします。

伝承わらべうたの絵本です。巻末には楽譜も載っているので、子どもたちの目覚めの時に歌ってあげるのもおすすめです。



### 『ごぶごぶごぼごぼ』

駒形 克己／さく  
福音館書店  
(E-コマガ)

「ごぶごぶ ごぼごぼ」「ぷぷぷ ぷわーん」青やオレンジの丸が、音と共に大小に変化していきます。水の中にあるような不思議な音と鮮やかな色。ページには丸い穴も開いており、視覚と触覚を使って楽しめる本です。



### 『じゃあじゃあびりびり』

まつい のりこ／作・絵  
偕成社(E-マツイ)

自動車や犬、掃除機などの身近な「もの」とその音が、シンプルな絵とはっきりした色で描かれています。

声に出して読んでみたり、「もの」のまねをしてみたり、楽しみ方はいろいろ。「まついのりこあかちゃんのほん」シリーズの1冊です。